

4月の「バープ工作り体験会」活動報告

開催日：2026年4月19日（日） 9時～11時30分

参加者：麻機ウェットランドクラブ 小池

東海大学水棲環境研究会 現役 4名

東海大学水棲環境研究会 OB 2名

あさはた緑地キツネノボタン部 5名

静岡大学 学生 1名

一般 7名 計 20名

活動内容： 巴川のあさはた緑地隣接区間にて、年度末の浚渫工事にて単調化した河床を多様化（自然再生）および露出した護岸基礎の保護（防災）のために「バープ工」の設置を行った。

河道内の石を用いて、計20基を設置した結果、水深の多様化（一律7cm⇒4～15cm）、流れの多様化を実現できた。また、降雨後に護岸基礎の露出部に土砂が溜まる様子も確認できた。

バープ工作り体験後には、希望者と上流部落差工～越流堤までを歩いて見学し、河床勾配に従った河床粒径の変化（礫⇒砂利⇒砂⇒泥）を観察した。



開始前の全体挨拶



バープ工作りの様子



平坦で流れが一様化した河床



露出した護岸基礎



作り方と効果の解説



バープ工によりせりあがった水



水深（バープ工設置前：7cm）



水深（バープ工後上流：15cm）



バープ工 20 基が完成



バープ工を回り込んで波打つ水流



川の粒径と勾配（落差工付近：礫区間）



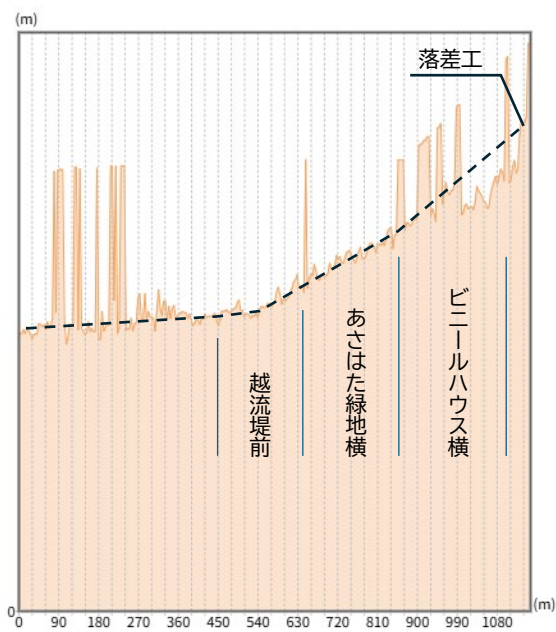
川の粒径と勾配（第3駐車場付近：砂利区間）



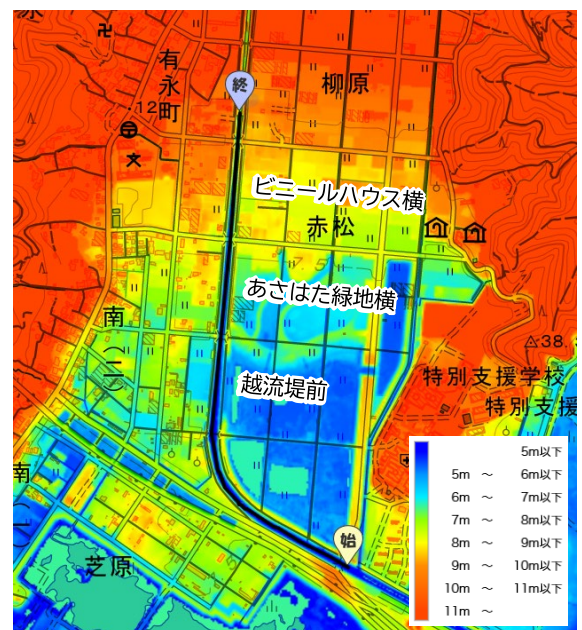
川の粒径と勾配（堆肥場付近：砂区間）



川の粒径と勾配（越流堤付近：泥区間）



川の勾配（樋橋側合流点～落差工）



左グラフの測定線形

図出典 | 国土地理院地図（電子国土 WEB）を用いて作成



たくさんのバード工と巴川の流れ